

第1回選定会議記録

会議名称		第1回杉並区庁有車運行管理業務受託者候補者選定会議
日時		令和7年10月29日(水)
場所		東棟5階経理課入札室
出席者	委員名	総務部長：山田 隆史 総務部秘書課長：野澤 巡 危機管理室危機管理対策課長：北川 次男 教育委員会事務局庶務課長：近藤 高成 区議会事務局次長：村野 貴弘
	事務局職員	総務部経理課長：青木 誠 総務部経理課庁舎管理係主査：早瀬 健司 総務部経理課庁舎管理係：渡邊 周
配布資料	資料1 杉並区庁有車運行管理業務受託者候補者選定会議委員等名簿 資料2 杉並区庁有車運行管理業務受託者候補者選定スケジュール(案) 資料3 杉並区庁有車運行管理業務公募型プロポーザル実施要領(案) 資料4 杉並区庁有車運行管理業務受託者候補者選定に係る審査基準(案)	
会議次第	1 会長あいさつ 2 選定会議について (1) 選定会議委員等名簿(資料1) (2) 選定スケジュール(資料2) 3 議題 (1) 実施要領について(資料3) (2) 審査基準について(資料4)	

会議の結果及び  
主要な発言

- |  |
|--|
| 1 会長あいさつ                                     |
| 2 配布資料の確認                                    |
| 3 選定会議について                                   |
| 資料 1 及び 2 に基づき、事務局から選定委員の紹介及び選定スケジュールの説明をした。 |
| 4 実施要領（案）について                                |
| 資料 3 に基づき、事務局から実施要領（案）及び業務の概要について説明した。       |
| 5 審査基準（案）について                                |
| 資料 4 に基づき、事務局から審査基準（案）について説明した。              |

<質疑応答>

○審査項目に「区内業者への加点」とあるが、杉並区内に事業所を有していれば必然的に加点されるということか。

→事務局：令和 7 年 4 月からのプロポーザル運用の変更に伴い、区内事業者点として評価項目に追加したものであり、審査基準に基づき採点する。

○審査項目の「経営状況」については、公認会計士の財務状況診断の結果により評価点が決まるのか。

→事務局：公認会計士の財務状況診断結果により評価点が決まる。

○審査項目の「独自の取組」について、他の項目と比較して配点が高くなっているが、具体的にどのようなものを「独自の取組」と考えているのか。

→事務局：急な運転依頼に対する柔軟な対応、災害時等の緊急対応、効率的な運行担当者の配置等を想定している。また、運転手の健康管理、運転技能向上のための教育など、業務の質を高める取組も含まれると考える。

○一次審査より二次審査の配点が高いのはなぜか。

→事務局：二次審査では、プレゼンテーションを通じて書面では判断できない業務に対する姿勢を評価できること、また、一次審査と二次審査を合わせた総合評価が含まれていることから、一次審査より配点を高くしている。

→委員：プレゼンテーション能力の優劣ではなく、業務の実施体制や実施方法などの業務の本質に重点を置いた審査をすることが望ましい。一次審査で重視する評価項目の配点を高くし、一次審査と二次審査の配点割合を同じにすることを検討してはどうか。

会議の結果、審査表の配点を見直し、一次審査と二次審査の配点比率を同じにすることで、選定委員全員の了承を得た。

- 6 次回会議について  
令和 7 年 1 月 25 日（木）10 時～

第2回選定会議記録

会議名称		第2回杉並区庁有車運行管理業務受託者候補者選定会議
日時		令和7年12月25日(木)
場所		東棟5階経理課入札室
出席者	委員名	総務部長：山田 隆史 総務部秘書課長：野澤 巡 危機管理室危機管理対策課長：北川 次男 教育委員会事務局庶務課長：近藤 高成 区議会事務局次長：村野 貴弘
	事務局職員	総務部経理課長：青木 誠 総務部経理課庁舎管理係主査：早瀬 健司 総務部経理課庁舎管理係：渡邊 周
配布資料	資料1 財務状況診断結果報告書 資料2-1 第一次審査結果 資料2-2 第一次審査集計表 資料3 第二次審査の実施について(案)	
会議次第	1 第一次審査通過者の選定について (1) 経営状況の評価について (2) 第一次審査通過者の選定 2 第二次審査について 3 第3回選定会議の開催について	

会議の結果及び 主要な発言	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 配布資料の確認</p> <p>3 第一次審査通過者の選定について</p> <p>(1) 経営状況の評価について 資料1に基づき、事務局から公認会計士による財務状況診断結果について説明した。</p> <p>(2) 第一次審査通過者の選定 資料2-1及び資料2-2に基づき、事務局から第一次審査結果について説明した。各委員の採点に大きな乖離はなかったことを確認し、配点合計の6割以上を取得したA社を選定することで合意した。</p> <p>4 第二次審査について 資料3に基づき、事務局から第二次審査の流れについて説明した。</p> <p>＜質疑応答等＞</p> <p>○二次審査の会場について、当初予定していた場所から変更したほうが良いとの意見があり、変更することとした。</p> <p>5 次回会議について 令和8年1月19日（月）10時～</p>
------------------	--

第3回選定会議記録

会議名称		第3回杉並区庁有車運行管理業務受託者候補者選定会議
日時		令和8年1月19日(月)
場所		中棟4階理事者控室
出席者	委員名	総務部長：山田 隆史 総務部秘書課長：野澤 巡 危機管理室危機管理対策課長：北川 次男 教育委員会事務局庶務課長：近藤 高成 区議会事務局次長：村野 貴弘
	事務局職員	総務部経理課長：青木 誠 総務部経理課庁舎管理係主査：早瀬 健司 総務部経理課庁舎管理係：渡邊 周
資料配 料布	資料1 第二次審査の実施について 資料2 審査表 資料3 (参考資料) 質問事項	
次会 第議	(1) 事務連絡 (2) 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング) (3) 最終審査	

	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 第二次審査について</p> <p>事務局より配布資料の確認及び第二次審査の流れを説明した。</p> <p>3 第2次審査の実施</p> <p>事業者から 10 分のプレゼンテーションが行われた後、15 分のヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は以下のとおり。</p> <p>(A社)</p> <p>○業務実績について、他の官公庁での契約の期間や更新の有無等について詳細を教えてほしい。</p> <p>→他の官公庁では 1 年単位の契約が多いが、長いところでは 10 年以上継続して契約している。</p> <p>○運転手不足が社会的に問題となっている中、運転手を確保するためにどのような取り組みをしているのか。</p> <p>→賃金の引き上げを継続して実施しているほか、募集広告の強化や運転手の紹介制度の導入などにより、人材確保に努めている。</p> <p>○運転手の連続勤務及び長時間勤務を防ぐためにどのような対応をしているのか。また、宿泊を伴う出張についてどのように対応するのか。</p> <p>→社用スマートフォンに日々の出退勤時刻を入力させ、勤務状況把握し、必要に応じて代務の運転手を手配する等の対応をしている。宿泊を伴う出張については、現状は 1 ~ 2 泊程度が多く、原則として運転手 1 名で対応しているが、運行時間が長くならないよう適切に管理している。</p> <p>○従事者が業務上知り得た情報について、契約期間中はもちろんのこと、契約終了後も外部に漏洩させないために取り組んでいることはあるか。</p> <p>→全社員を対象にプライバシーマークに関する研修を実施している。また、運行計画書等の文書は定められた保存期間終了後に適切に廃棄している。あわせて、管理担当者が定期的に巡回訪問を行い、管理・監督体制を確立し、守秘義務の徹底を図っている。</p> <p>○プラッシュアップ研修の具体的な内容及び研修時間について教えてほしい。</p> <p>→テーマは年によって異なり、ハラスメント研修や事故対応の研修など、外部講師を招いて 3 時間程度実施している。</p> <p>○民間と官公庁で運転手の勤続年数は異なるのか。また、これから高齢者雇用が進むと思うが、ドライバーの質の確保をするためにどのように取り組んでいくのか。</p> <p>→勤続年数にそれほど差はないが、運転手の年齢制限が異なることがある。運転手の高齢化については、健康管理を徹底し、ドライバーの質の確保に努めている。</p>
--	---

	<p>4 受託者候補者の決定</p> <p>ヒアリング終了後、委員による採点を実施した。集計の結果、第一次審査と第二次審査の点数を合計した総合計が配点総合計の6割以上を取得していたことから、A社を受託者候補者として選定した。</p>
--	--